

褥瘡エコーに必要な基本的な解剖を知る

那須ユキエ

医療法人三和会 東鷲宮病院 検査科 科長

Point

- ▶ 褥瘡の好発部位の解剖について理解しよう
- ▶ 褥瘡の好発部位の正常エコー画像を把握しよう

はじめに

褥瘡をエコーで診るうえで重要なポイントは、解剖を十分に理解してプローブをあてることです。

筋肉、腱の走行を理解し、それに沿って長軸、短軸のスキャンを行います。とくに褥瘡にポケットがある場合には、筋膜や腱、靭帯に沿って拡大

する傾向があるため、これらを見落とさずに観察することも重要です。

さらにプローブの向きによって、正常組織であっても異常に見えてしまうことがあるので注意を要します。

褥瘡の好発部位の解剖

以下に、好発部位の解剖を示します。

仙骨部、大転子部

褥瘡の好発部位である骨盤領域の骨（図1～図3）および筋肉の解剖（図4）を示します。

図1、図2のように、骨盤は寛骨（腸骨、恥骨、坐骨）および仙骨、尾骨で構成されています。

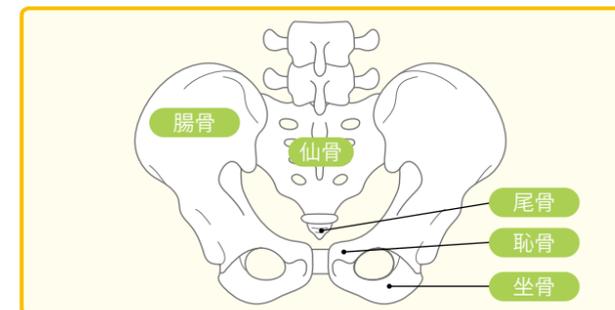


図1 骨盤領域～背面の骨格

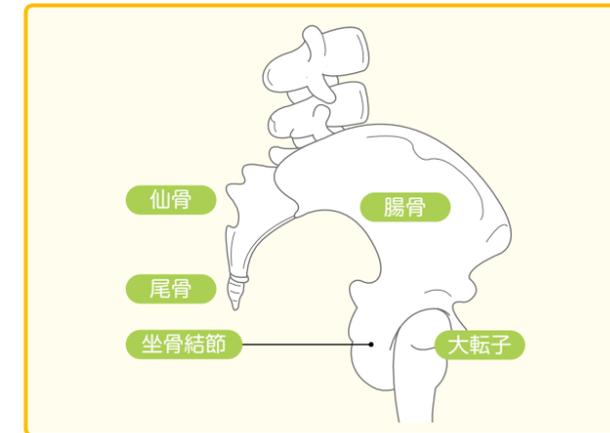


図2 骨盤領域～側面の骨格

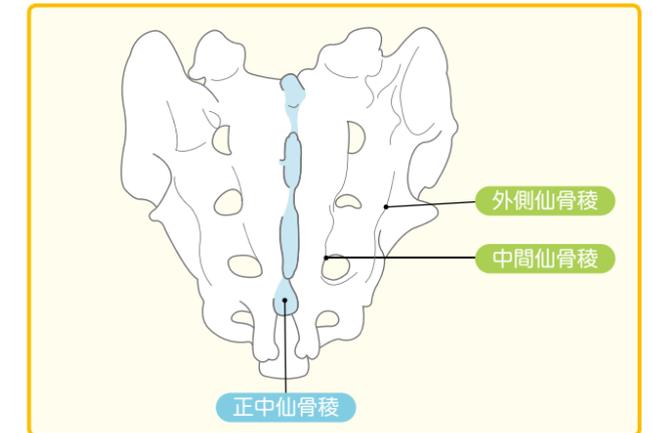


図3 仙骨～背面の骨格

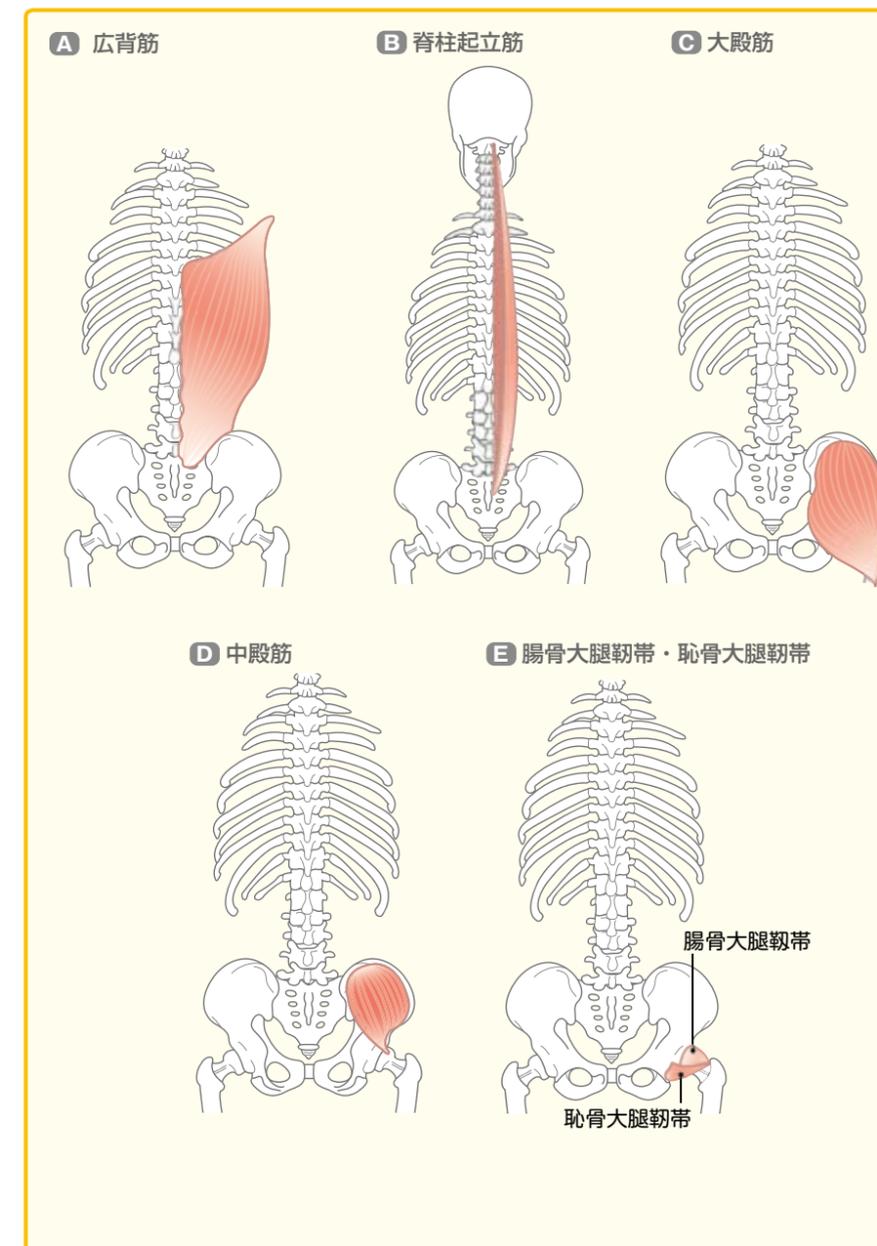


図4 骨盤領域の筋肉